

特集 町政あんない 情報コーナー まなびすと キラリ健康ナビ わいわいプラザ



一般書 吉祥寺デイズ

山田詠美 著 (小学館)

美味なる食べものやお酒、大切な人の時間や場所から度重なる「不倫」報道や政治、事件のニュース…。日常をカラフルな幸せと共に過ごすためのエッセイ全95篇を収録。



児童書

あかちゃん新社長がやってきた

マリア・フレイジー作 (講談社)

ある日、赤ちゃん社長のもとに、いもろとがやってきた。そして、お兄ちゃんの赤ちゃん社長を追い出して、赤ちゃん新社長になった。新社長は元の社長と比べものにならないほど口やかましいのに、ママとパパは楽しそうで…。

5/31 図書室休館のお知らせ

資料整理のため、5月31日(木)は、図書室をお休みします。6月1日(金)からは平常どおり利用できます。
▶問合せ 社会教育センター図書室 ☎28-5449



5/10 おひさまのおはなし会

読書クラブおひさまの皆さんによる紙人形劇や手遊びを行います。
▶とき 5月10日(木) 午前10時30分～
▶ところ 総合福祉センター南館ひまわり
▶対象 乳幼児

5/19 ゆめっ子のおはなし会

▶とき 5月19日(土) 午後1時30分～
▶ところ 社会教育センター幼児遊戯室
▶対象 小学校低学年、幼児
▶問合せ いずれも、社会教育センター図書室 ☎28-5449

豊山俳句クラブ

青山克己 選

麦を踏む遠き汽笛を聞きながら 岡島 齋
片隅に余白を残す花の冷え 高木須磨子

「そだねえ」が口癖の子や水温む 田村多喜子
落椿うす紅色はうす紅に 坪井昭子

梅千本民家十戸の里のあり 杉浦みどり
集落の暮らしの中に吊るし雛 小塚美枝

梅香る日の巫女の所作月参り 平手英信

豊山歌壇

水野笑子 選

春を待つ心温み来球根の 水谷弘子
角ぐむみどりいろあざやかに 水野勝代

初舞に夢を叶へて准名取 水野勝代
舞台で頂く祝ひの盃 山田 米

凍れる日小さき虫の家のなか 山田 米
蜂蜜ふも亡骸となる 渡辺トヨ子

豊山にドヂヤウの寿司の伝はりぬ 渡辺トヨ子
昔のやうに川に姿なし

菜の花や日がな一日波の音 坪井径子
七色の春風集ふ交差点 青山とも子

押し花の葉に春がやって来る 水野眞弓
たらの芽やほろりと苦く酒を酌む 山下敬太

よちよちの坊やの脇に土筆かな 谷崎 琴
まんまるく手にほつこりとこけし雛 石黒貴代子

人ひとりやつと通れる路地の春 青山克己

甘酒の忘れがたきは亡き夫と 荒川昌枝
ハイキング途中の茶店の味なる

風弱く雲の動きの合間より 安藤定岳
遠く見ゆるはマウントクツク

厳寒の今年は稀有か変わりゆく 一柳千鶴子
地球かと未来を憂ふ日々なり

呪ひの言葉唱へて寝ぬといふ 井上とよほ
古人の初夢幻想

何となく何故か気になるこの湯呑 木村和子
持てば心のおだやかとなる

野の草をお浸しにせし時代あり 小出寿枝
芹などありて昔懐かし

編集後記

「知は力なり」―十六世紀のイギリスの哲学者フランシス・ベーコンの言葉である。この言葉の真意は、観察を積み重ね、経験に基づいた「知」こそ、世の中の新たな法則の発見などの「力」になり得るということである。哲学者である前に科学者でもあったベーコンならではの考えだ。今月号の特集では、水害対策に関する情報入手の手段などについてお伝えしている。非常に時に備えて、必要な情報を手に入れるための手段を知っておいていただきたい。近年は、過去の経験からでは想像もつかないような災害も起きています。大きな被害を目にしたときは、暗澹たる気持ちになる。しかし、我々はその都度貴重な教訓を得る。科学技術や情報伝達手段の発達も活かすことで、その力は一層、増す。ベーコンは、自然の強大さをよく理解していた。人間ができることは自然のふるまいを観察、思索し、そこから推測できた知識を実利に用いることであると唱えた。町では、「安心・安全メール」などにより、必要な情報をお届けしている。各機関から提供される「知」を活用して、非常時を生き抜く「力」にしたい。